

平成22年度第3回 下山地域会議 会議録

【日時】平成22年6月17日(木) 19:00~21:00

【場所】下山交流館第11会議研修室

【出席者】委員 16名出席 1名欠席

事務局 加藤支所長 中野主幹 宇野副主幹 中根係長 加藤

【次第】1 あいさつ

2 議題

(1) 地域予算提案事業について

平成22年度地域予算提案事業について

地域課題の検討について

(2) 定住促進策について

地元意見交換会(集落ワークショップ)について

3 今後の日程について

4 その他

【内容】

1 あいさつ

(会長) 6月5日に三巴で集う会のわくわく事業が実施され見に行った。これから、わくわく事業が実施されていくので、地元には参加していただきたいと思う。

(支所長) 定住を、地域問題研究所の方と一緒にやる。今年度の地域予算提案事業の説明と来年度の計画も作らなければいけないので、地域課題を解決するために検討をしていただくことになる。6月の終わりから30集落に入る説明もさせていただくので、よろしく願いしたい。

2 議題

(1) 地域予算提案事業について

平成22年度地域予算提案事業について

資料に基づき説明(事務局)

(2) 定住促進事業について

地元意見交換会(集落ワークショップ)

資料に基づき説明(地域問題研究所)

(委員) 身近な転出入の状況は、それぞれで違うと思うが、事前に調べ現況を把握するか、ある程度の状況を把握すれば、地域によって、どういう課題があるかが見えると思う。地域が何を望むかまで分かっていると良いと思うが。

(地問研) 人口のデータなど、ある程度の現況は調べてから伺う。

(委員) 廃校に関しては「該当地域」とある。全体で考える部分もあると思うが。

(地問研) 仕分けとして、集落WSでは地元としてどう使いたいのか、全体WSで下山全体として、どういう位置づけにしたらいいかを検討する。

(委員) 全体WSのメンバーは。

(事務局) 7月の区長会で依頼予定。自治区長と自治区からの代表と地域会議委員と考えている。

(地問研) 集落WSの参加者が重要になり、地域をよくご存知のリーダーの方々がいないと話が進まないし、これからの地域を担う若い方々、女性の方々の意見も不可欠なため、バランスの良い

参加者で話し合えると良いと思っている。

(事務局) 6月17日現在で集落からの回答で日程表が作成しており、概ね2時間程度を予定して調整がしてある。区長・組長に結果として示させていただき、微修正があるかもしれないが、ほぼ決定。前回話をしたとおり、各集落に地域会議委員1から2名の参加をお願いしているため、各自治区で集落の割り振りをし事務局に報告を願いたい。事前に資料として、地域会議の説明や各集落の人口データ、最終日程表を後日送付する。

(委員) 定住促進は豊田市の施策として進めているのに、支所がオブザーバーで地域会議が推進していく感じがする。市の施策なのに地域会議が意見やアドバイスをするのは良いと思うが、何で支所が推進し、地域会議がオブザーバーにならないのか。空き地などについては客観的に言えるが、人口減少などは跡取りの問題などデリケートで、誰もが自分の中にいろんなものを持っている。地元に入るとなれば様々な条件を知っており、現状がこうだが理想どおりに動いていけない中で、それぞれの人が心の中に悶々としている。地元に入る時に地域会議が主体的に進行することが辛いところがある。空き家や廃校については客観的に意見が言えるが、違う部分はお互いに事情を知っており、自分の気持ちの中にも葛藤があるのに、定住促進で地域会議委員ですと行うのは辛い。市の施策として行うのだから、支所や行政が主体的に動いて、地域会議はアドバイザーで良い。

(事務局) 地域会議で昨年度、定住の問題を検討していこうと決め、それを事業化していくために地域予算提案事業として予算化した。発注は市になるが、地域会議と共働で行うことになり、今回のワークショップの中でも進行のみをお願いしていて、委員に責任がかかることはない。

(委員) 共働だから、支所がもっと主体的に前面に出てもいいのでは。

(事務局) 市の施策として空き家バンク制度など行っている部分は確立している。そうではない、地域でこれから行う部分をこの事業の中で考えていく。実際に集落に入り、皆さんの意識確認や意識付け、地域として取り組むべきなのかどうかの話を聞き、下山地域としてどうしていくかを、地域会議で検討することになる。この事業を市と地域会議と共働で行うため、事業の説明は市で行い、集落に入るため地域に密着した部分の進行のみを地域会議で行うよう役割分担をしている。

(地問研) 意見交換の部分は、言いにくい聞きにくいという部分があると思うので、第三者である自分達が引き受け、とりまとめをする役割を担う。この後、込み入った部分も含め、ワークショップ、意見交換の仕方を知っていただくために研修的に行うのと、30集落の中で似た意見が出ると思うので、予行演習として定住促進を進めていくことのマイナスとプラスの面を意見交換したい。

(1) 地域予算提案事業について

地域課題の検討について 2グループ(8名ずつ)でワークショップ
グループごとのまとめを意見集約資料に基づき発表

(地問研) 集落に入る入り方など迷われると思うが、関わり方を考えていただき、意見交換など意見がぶつかりそうな所を自分達が間に入りながら進めていきたいと思う。

(事務局) 次回7月15日地域会議。30日までに集落参加者の報告。食育フェスタが6月19日にあり、下山地区が発表するので、ぜひ、参加していただきたい。6月21日旭支所で正副会長会議がある。

(会長) 地元の意見交換に参加いただき進行をお願いする。以上で地域会議を終了する。